

電子部品・電子回路設計のDRBFMによる 品質不具合未然防止策の実践的な進め方 ～トラブルを防ぐトヨタ流の品質確保 虎の巻(演習付)～

◆日 時：2020年3月27日(金) 10:00～16:30 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円
◆会 場：連合会館 401号室 同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
(東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

**DRBFMの詳細な手法・勘所,設計品質向上と
開発期間の合理的短縮を両立する手法、問題発見と問題解決の取組み、
DRBFMのワークシートの効果的な活用方法・ノウハウなどについて、
豊富な経験をもとに演習を交えてわかりやすく解説する特別セミナー!!**

【講師の言葉】

新製品実現プロジェクトにおいて、リスクに対応することは必須の課題です。さらに開発期間の短縮も求められます。それらを合理的に両立させる設計プロセスとして推奨されているのがDRBFMです。新製品を設計しようとする際に、設計的に十分な知見を注ぐことができず設計プロセスの完結が困難な領域が生ずることが多くあります。そこから生ずるリスクを未然防止するためには、問題発見と問題解決を必要十分な状態まで引き上げることが重要です。

このセミナーでは、このような設計プロセスの良品条件が不足している新規部分・変更部分・変化部分に対する取り組みとして工夫されたDRBFMについて学習し、DRBFMをコアにしたチームの総知・総力を注いだ取り組みが設計不備を未然防止するために有効な手段であることを理解していただきます。そしてDRBFMの詳細な手法や勘所を詳説と演習を通して体得していただきます。一方、DRBFMを利用した活動では、キャリアオーバー部分(即ちgood designの部分)の設計活動とペアにしてプロジェクト活動をします。この二本立ての活動は、それぞれの活動で処理すべき課題にフォーカスしやすくなり、設計品質の向上と開発期間の合理的短縮を両立するうえで有効な手法となります。DRBFMは海外でも設計活動のベストプラクティスとして特に自動車産業で推奨されています。

【受講対象】 ・新製品設計におけるリスク対応の手法について学びたい方
・自動車部品の設計品質について学びたい方 ・設計部門の管理者または担当者

【予備知識】 講義の中でも説明いたしますので必須ではありませんが、新製品の開発プロセスに関する知識を持っていることが望ましいです。

【習得知識】 1) 新製品の設計プロセスの完結が不確かな新規部分・変更部分・変化部分に起因する問題の未然防止と、開発期間の短縮とを合理的に両立させるような設計の取り組み方を理解することができます。
2) DRBFMをコアにしたチームワークによる総知・総力を注いだ問題発見と問題解決の取組みが設計不備を未然防止するための有効な手段であることを理解することができます。
3) DRBFMのワークシートの効果的な活用方法や勘所を習得することができます。



●申込書・2020年3月27日(金)「電子部品・電子回路設計のDRBFMによる品質不具合未然防止策の実践的な進め方」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄

◆プログラム◆

【講師】 株式会社 ワールドテック 技術部長 山田 卓 先生

(株)デンソーにて、車載用電子機器の設計・設計プロセス管理などに従事した後
大手企業 設計部門にて技術支援・新製品開発プロジェクトマネジメントを経て現在に至る。

1. 講義「未然防止としてのDRBFM」
 - 1.1. 未然防止とは、および如何に問題を未然に防ぐのか
 - 1.2. DRBFM早分かり
 2. DRBFMの解説と演習
(2-5.から2-9.で簡単なデバイス教材とした演習を行いながら実務の説明を行います)
 - 2.1. 未然防止の必要性
 - ・リスクを起点に効果的・効率的に目的・目標達成を図るアプローチ(Risk-based thinking)が求められている
 - 2.2. DRBFMの考え方、概要、有益性
 - ・変えない部分の設計(キャリアオーバー)とDRBFMの二本立て(Dual System)
 - ・開発期間の合理的短縮と設計品質の向上の両立
 - 2.3. DRBFMプロジェクトを完結するためのステップ
 - ・DRBFMのプロセスロードマップ
 - ・DRBFMシステムの統合
 - 2.4. DRBFMの実実施計画
 - ・DRBFMの詳細プロセス
 - ・FMEAの5ステップアプローチ
 - 2.5. 準備
 - 2.6. 機能分析、変更点
 - ・構造分析
 - ・機能分析(設計の中身を見える化する)
 - ・変更・変化した部品の機能を集約
 - 2.7. 心配点、原因、影響
 - ・故障分析
(故障モードの検討、故障メカニズムの検討)
 - ・製品への影響・厳しさの検討
 - ・専門家が参画したディスカッション
 - 2.8. 設計処置
 - ・Preventiveな設計処置とdetectiveな検証の二元系で行う
 - ・専門家が参画したディスカッション
 - 2.9. 推奨措置
 - ・対策の実施と効果の確認
 - ・チームによる未然防止の保証
 - 2.10. DRBFMを成功させるための勘所
 - ・DRBFMの出来栄チェック
 - ・英知を集め、協力して問題解決に導く
- 3.質疑応答
個別相談・名刺交換

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先



(株)TH企画セミナーセンター

〒108-0014 東京都港区芝5-30-1-210

TEL: 03-6435-1138

FAX: 03-6435-3685

E-mail: th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0327 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<http://www.thplan.com/>